

在宅取組型（小学校）



学校名等	神戸町立北小学校
実施日時	平成28年度夏休み期間中・冬休み期間中
会場	北小学校 各家庭
参加人数	全児童255名・保護者
学習課題（分野）	「ギュッ」してほかほか～ハグ週間～
運営者の願い	毎日忙しい保護者と習い事や学習に追われる毎日を通っている子供達やゲームに夢中になっている子供達が多くなり、親子、家族の時間と会話が自然に少なくなっているご家庭が多いのではないかと。そこで、いつもよりスキンシップ（コミュニケーション）をとる意識をお互いに持って頂き、それによって家族との会話の時間が増え子供達が家族の愛情をたっぷり感じ、心がほかほかになることを願い活動に取り入れた。

学習の内容

〈取組の内容〉

第一回：夏休み期間中一週間、第二回：冬休み期間中一週間を各家庭で実施し、スキンシップから家族とのコミュニケーションをとることを目的としたハグ週間を実施した。

〈取り組みの流れ〉

保護者と全校児童に取組の説明⇒自校独自の取り組みカードと取り組み案内文書を配布⇒各家庭での取り組み（取り組みカードの記録）⇒取り組みカード回収⇒各学年ごとに取り組みカードの集計⇒家庭教育学級だよりで実践事例を報告

〈アピール〉

本校初めての取組のため、次のようなアピールをした。

- ① 保護者に懇談会を利用して取り組み内容の説明
 - ・取り組みカードの実物を見せる。
 - ・ハグ効果を説明する。
- ② 全校児童に終業式に取り組み内容の説明
 - ・取り組みカードの実物を見せる。
 - ・取り組み方や記入の仕方を低学年にも分かるように説明する。
 - ・ハグ効果を説明する。
 - ・宿題的な考えがあるといけなくて、できるときに取り組みすることを強調して説明する。
- ③ 自校独自の取り組みカードを作成
 - ・1年生～6年生まで同じものを使用するため、低学年でも書きやすいように絵を描くことができる欄を作った。
 - ・スキンシップをとることが目的のため、ハグだけでなく他のスキンシップの方法を例としてあげて明記した。
- ④ ハグ効果を保護者に伝える
 - ・ハグ効果を知ってもらうために、案内文書に図や絵を用いて目にとまりやすいようにした。
- ⑤ 家庭教育学級だよりを発行
 - ・各学年に分けて実践事例の報告。子供たちが描いた絵も紹介した。
 - ・最終ページに、ハグ以外のスキンシップ方法を大きいイラストを入れ再度紹介した。

〈結果〉

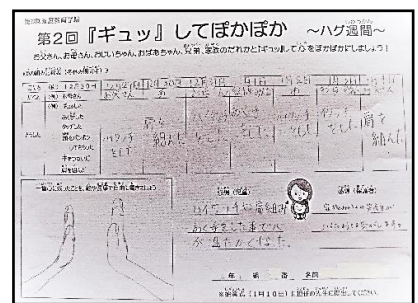
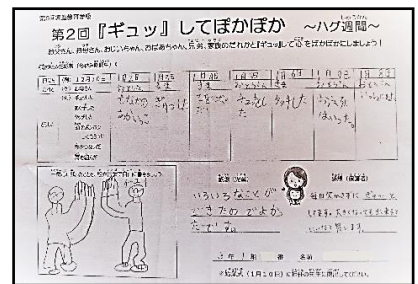
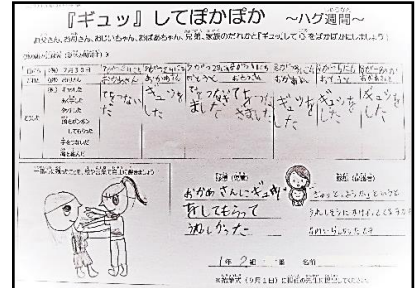
- ・取り組みカード提出率
 - 夏休み期間・・・239人提出(255人中)約94%
 - 冬休み期間・・・232人提出(255人中)約91%
- ・低学年は、ハグをすることに抵抗がなく親子共に積極的に取り組む家庭が多くみられた
- ・高学年になるにつれ、ハグをすることに抵抗が出てくるようになり、肩を組む、ハイタッチをするという実践例が多くみられた。

〈感想〉

児童・・・温かい気持ちになった・優しい気持ちになった・仕事で帰りが遅いお父さんにやってもらえてうれしかった・お父さんにギュッとしてもらったら痛かった・心が落ち着いた・やる気を感じることができた・お母さんの体が暖かくて幸せな気持ちになれた・もっと家族と話したり手をつないだりしたい・恥ずかしかった・家族を大切にしたいと思った・勇気がわいた

保護者・・・子供の笑顔がみられた・小さい頃を思い出した・親子の会話が増えた・安心感を得ることができた・心と体の成長を感じた・癒された・コミュニケーションが大切なことだと痛感した・ハグに少し抵抗があったがやってみて良いものだった

大人も子供も、ハグ週間をきっかけに今まで以上にコミュニケーションをとることができたり、コミュニケーションが大切だと感じてもらうことができた。これからも続けてもらいたい。



保護者の目にとまるように意識し、案内文書や家庭教育学級だよりにイラストや図を出来るだけ用いた。(※1)

家庭教育学級だよりを発行し、取り組みカードに描かれていた絵をいくつか紹介し、子供たちがどんなふう感じているかを出来る限り紹介し、保護者に子供たちの気持ちを伝えた。(※2)

※1

ハグ（スキンシップ）をすると、『オキシトシン』という幸せホルモンが分泌され、こんな効果があるようです。+

- 幸福感が得られる+
- 気持ちが安らく（落ち着く、安心できる）+
- 前向きな気持ちにしてくれる+
- 人への愛情や信頼感を育む+
- ストレスが軽減される+
- 情緒が安定する+
- 子供が自立できる+
- 安眠につながる+
- 心だけでなく体の痛みも和らげてくれる+

身も心も健康になる+

自信を取り戻し愛情を再確認し、親に依存することなく成長していただけます。+

ハグだけでなく手を握ってあげたり、頭をなでてあげたりするだけでも効果はあるようです。スキンシップが重要です。『いってきます』『おかえりなさい』『おやすみなさい』『頑張ったね』こんな時に是非、実践してみてください。きっと子供達はたっぴりと愛情を感じてくれるはずですよ。+

親子、家族とのスキンシップが子供の心を育ててくれますよ。+

※1

「ギュッ」してぽかぽか ～ハグ週間～

スキンシップで心も体もぽかぽかになりましょう！！



スキンシップはたくさんあります。+
ご家庭にあったスキンシップを
みつけてください。+
子供達は、たっぴり愛情を
感じてくれます。+

※2

長子配布
保護者様

平成28年10月吉日

家庭教育学級だより No.3

学年母親委員会

★ 家族でふれ合い、心がぽかぽかになりました ★

家庭教育学級の第4回目は、夏休み期間中「ハグ週間」を行いました。全校児童の皆さんと保護者の方々のご協力を頂きありがとうございました。各ご家庭にあつたご家族のたくさんのおふれ合いがあり、とてもうれしく思います。たくさん頂いたご感想をご紹介します。

1年生

日頃からギュッとしていたご家庭が多く、ハグ週間も自然に受け入れて楽しんできていたようです。

ギュッとした・手をつないだ・肩車をしてもらった・握手した・おんぶしてもらった・頭をなでてもらった・こしょこしょた・くつついて寝た・ひざに座った・チューをした・一緒にお風呂に入った・肩もみをした・背中をトントンしてもらった

〈児童の感想〉

心がぽかぽかした・笑顔になった・家族を大切にしたいと思った・家族の愛情を感じた・うれしかった・みんなが大好きになった・これからもやってもらいたい・ありがとうという気持ちになった・温かい気持ちになった・手が温かった・楽しかった・お父さんにギュッしてもらったら痛かった

〈保護者様の感想〉

心が温かくなった・優しい気持ちになれた・これからも続けたい・子供の笑顔が見れた・家族を大切にしていきたいと感じた・久しぶりにたくさん遊んであげられた・日頃からふれ合っている・ギュッしよう！といううれしそに駆け寄る姿がかわいかった



1年生



2年生